

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 7 日現在

機関番号：14501
 研究種目：基盤研究 (C)
 研究期間：2008 ～ 2011
 課題番号：20520708
 研究課題名 (和文) 「移動」と新たな公共領域の構築—中国沿海部のムスリム社会を中心に
 研究課題名 (英文) Construction of new public space with movement of the population, the Muslim society of China's coastal regions
 研究代表者 王 柯 (WANG Ke)
 神戸大学・国際文化学研究所・教授
 研究者番号：80283852

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文化人類学、文化人類学・民俗学

キーワード：公共空間、ムスリム、民族問題、経済発展

1. 研究計画の概要

中国沿海部のムスリム社会には、漢族社会、中国や他国のムスリム社会にそれぞれ見られない公共領域が存在し、イスラーム社会で考えられない宗族祠堂や宗族の神を祭る宗廟は現地への移住と定着以降作られ、内陸部の漢族社会になかった村劇場、村南音劇団、村文化センターなどは「華僑」を海外に大量に送り出した 19 世紀末 20 世紀初頭に誕生し、中国ムスリムのメッカ巡礼とアラビア留学が出来るようになった 1980 年代以降モスクも作られた。多様な公共空間の誕生に伴い、収穫祭、人生儀礼、祖先祭祀、族譜作成、教育理念、演劇活動、宗教信仰、生活慣習とタブー、倫理と美意識など、精神構造も再構築されている。今回の研究は、フィールド・ワークによる調査・追跡・記録・分析及び史料研究を通じて、中国沿海部のムスリム社会にある公共領域及びその形成と中国ムスリムが経験した「移動」との関係について分析し、究明を目指し、中国における多文化共生社会の形成における一つの回路を明らかにすることであった。

2. 研究の進捗状況

これまで 5 回にわたって現地に入り、「閩南」地域にある福建省唯一の「回族自治郷」(百崎)と数万人のムスリムが居住する「陳埭鎮」におけるフィールド・ワークによる調査・追跡・記録を行い、収穫祭、人生儀礼、祖先祭祀、族譜作成、宗教信仰、生活慣習とタブー、教育理念、倫理と美意識などについて多数のデータと資料を入手した。現在は入手したデータについての分析と現地で得た史料に対する研究を通じて、中国沿海部のム

スリム社会にある公共領域及びその形成と中国ムスリムが経験した「移動」との関係について解析し、とくに「公共空間」の性格とその社会を組織する役割について分析しているところである。

3. 現在までの達成度

②概ね順調に進展している。

本来「回族自治郷」である「百崎郷」と数万人のムスリムが居住する「陳埭鎮」の二つの地域におけるフィールド・ワークを目指したが、この地域の歴史資料が極めて乏しいことと郷政府がフィールド・ワークに対し非協力的な態度が示されたため、「陳埭鎮」のムスリム社会に一本化した。「陳埭鎮」のムスリム社会におけるフィールド・ワークと史料調査はこれまで非常に順調に行われ、多くの一次資料を入手した。

4. 今後の研究の推進方策

現在すでに始まっている研究・分析を進めながら、今年度において「陳埭鎮」においてもう一回フィールド・ワークを行い、科研報告書を年度末に仕上げることを目指す。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

- ① 王柯、「経済開発と『民族』の役割の再発見——『陳埭回族』の事例を通じて」愛知大学現代中国学会編『中国 21』34 巻、49-70 頁、2011 年 3 月。
- ② 王柯、「“民族”，一個来自日本的誤会」

『民族学与社会学通讯』 *Sociology Ethnicity* , 第70期, 中国社会学学会民族社会学专门委员会・北京大学社会学人类学研究所, 1-12页, 2010年。

- ③ 王柯、「国民国家与民族問題—關於中国近代以来民族問題的歷史思考」中国社会学学会民族社会学专门委员会・北京大学社会学人类学研究所『民族学与社会学通讯』 *Sociology Ethnicity*第60期, 1-8页、2010年。

〔学会発表〕 (計1件)

- ① 王柯、「華僑と公共空間—現地社会との協働関係の模索」、国際シンポジウム「華僑華人と現地社会との関係」にて、2010年8月16日、中国中山大学

〔図書〕 (計0件)